

|      |          |        |                          |     |
|------|----------|--------|--------------------------|-----|
| 科目名  | 保育内容（健康） |        |                          |     |
| 授業形態 | 履修形態     | 単位数    | 年次                       | 開講期 |
| 演習   | 選択       | 2      | 1                        | 後期  |
| 担当者名 | 弘中 陽子    | 関連する資格 | 幼稚園教諭二種免許 必修<br>保育士資格 必修 |     |

## 授業概要

乳幼児期は、生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期である。この重要な時期である乳幼児が「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」ための発育発達に応じた援助の基本や、保育者としての健康のあり方の基礎を学ぶ。

| 到達目標  | 成績評価方法   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「健康」のねらい、内容を理解する。</li> <li>・乳幼児期の子どもたちの心とからだの健やかな育ち、安全な生活のための保育者としての基本的知識と視点を習得し、保育者の役割を理解する。</li> <li>・作成した指導案をもとに実践を行ない、環境構成や遊びの展開方法、子どもの意欲を引き出す支援方法を理解する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・提出物（課題含む）</li> <li>・演習（グループ活動）</li> </ul> <p>以上を総合的に評価する。</p> |

| 評価項目         | 評価基準 |      |      |      |    |     | 評価割合 (%) |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
|              | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 |          |
| 定期試験（中間・期末）  | ○    | ○    | ○    | ○    |    |     | 50       |
| 小テスト、授業内レポート | ○    | ○    | ○    | ○    |    |     | 20       |
| 宿題、授業外レポート   |      |      |      |      |    |     |          |
| 授業態度・授業参加度   |      |      |      |      |    |     |          |
| プレゼンテーション    |      |      |      |      |    |     |          |
| グループワーク      |      |      |      |      |    |     |          |
| 演習           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  |     | 30       |
| 実習           |      |      |      |      |    |     |          |

| 授業計画と概要                       | アクティブラーニング |
|-------------------------------|------------|
| 1) オリエンテーション（授業概要、諸注意等のガイダンス） |            |
| 領域「健康」とは何か                    |            |
| 2) 子どもの育ちと領域「健康」              |            |
| 幼児期の健康な生活とは                   |            |
| 3) 子どもの「健康」をめぐる現状と課題          |            |

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| 4) 子どもの身体の発達と運動能力<br>子どもの身体の発達  |                               |
| 5) 子どもの身体の発達と運動能力<br>運動能力と動きの獲得   |                               |
| 6) 領域「健康」のねらいと内容<br>(保育所保育指針、幼稚園教育要領)   |                               |
| 7) 領域「健康」と他領域との関係<br>他領域と領域「健康」のつながり  |                               |
| 8) 前半の学びのふりかえり（小テスト）<br>幼児期にふさわしい運動とは   |                               |
| 9) 健康と安全教育  |                               |
| 10) 運動意欲を育む保育について考える①   | グループ活動                        |
| 11) 運動意欲を育む保育について考える②   | グループ活動                        |
| 12) 運動意欲を育む保育を実践する①<br>子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション  | 演習                            |
| 13) 運動意欲を育む保育を実践する②<br>子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション  | 演習                            |
| 14) 運動意欲を育む保育を実践する③<br>子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション  | 演習                            |
| 15) 子どもの健康における保育者の役割<br>授業のまとめ、授業評価アンケート  |                               |
| 授業外学習   |                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞記事や保育雑誌等をよく読み、子ども、あるいは自分自身の健康に関する事柄の理解を広げましょう。</li> <li>グループ活動においては、授業の空きの時間等を使い活動を進めてください。</li> </ul> |                               |
| テキスト、参考書、教材   | 関連する科目                        |
| 保育内容「健康」 河邊貴子・柴崎正行・杉原隆編<br>(ミネルヴァ書房)<br>新聞記事や雑誌の内容を資料として適宜配付する。   | 小児体育 I ~IV<br>レクリエーション演習 I・II |
| 備考  |                               |
| <p>グループ活動では、指導案の作成や教材作製等を行ないます。人任せにするのではなく、積極的に主体的に取り組むことを望みます。</p>   |                               |